

## 検討の柱（案）

章	内容	ご担当委員（案）
1.	報告書のスコープ、言葉の定義	
2.	希少フラクション化の現状と医療への影響および社会的影響	
3.	革新的な科学技術による希少集団の医薬品開発（NGS からのがん治療薬開発、iPS の活用）	
4.	希少がんに対する臨床試験のあり方、希少の程度やがんの種類による開発アプローチの違い	
5.	希少がん登録の推進、臨床試験の体制整備（現在の医療体制でバリアになっているところの整理）	
6.	診断（病理、免疫、分子等）の標準化／中央化と臨床情報を紐付けたバイオバンクの整備などの対応（現状と今後の期待）	
7.	その他	